



# 国文学研究資料館年報

National Institute of Japanese Literature

平成18年度(2006)





# 国文学研究資料館年報

National Institute of Japanese Literature

平成18年度(2006)





源氏物語団扇画帖（71 頁参照）



雨月物語（72 頁参照）





巷間芸能絵尽 (74 頁参照)



雑本八種 (73 頁参照)





画本虫撰（74 頁参照）



連続講演（46 頁参照）





子供見学デー (51 頁参照)



アーカイブズカレッジ (48 頁参照)

# はじめに

国文学研究資料館は、品川区戸越の旧三井文庫跡地に昭和 47 年 5 月に大学共同利用機関として発足し、それまで存置していた文部省史料館は付属機関となりました。平成 16 年度からは国立大学の法人化にともない、大学共同利用機関法人として人間文化研究機構を構成する一機関となり、史料館も内部の一研究系として再編成されました。同じ機構に所属するのは、当館のほかに国立歴史民俗博物館・国際日本文化研究センター・総合地球環境学研究所・国立民族学博物館の 5 機関です。それぞれは設立の経緯やミッションは異なりますが、機構本部のもとで各種の委員会を設置し、連携研究、共同研究を推進する態勢を整え、各機関が所有する豊富な資料、独自の研究分野、研究者集団の特性を生かしながら、新たな人間文化研究の創出に向かって進み出しているところです。従来は、どうしても「国文学」という視野の中での研究者同士の交流が中心でしたが、人間文化を研究するという共通の理念のもとに、各種の専門家の方々とのコミュニケーションを図りながら、国文学研究も長い伝統ある遺産を継承するとともに、一層の変革をし続けていく必要があると思っています。

国文学研究資料館は、コミュニティの強い要望のもとに、日本学術会議の設立の提言となり、亡失する危惧のある国文学研究資料を国の機関として調査し、マイクロフィルムで永久保存をする目的のもとに設立されました。「調査とマイクロフィルムによる収集」の基本方針のもとに、集積した資料、情報は研究者へ様々な媒体によって提供し、共同研究を推進することによって、研究の発展に資するというのが、これまで推進してきたスタンスであり、実績でもあります。全国各地の研究者の方々には、これまで多大な支援をしていただき、国文学研究資料館を支援してきていただいています。あらためて、御礼を申し上げる次第です。

国文学研究資料館は、法人化にともない全面的に組織を変更し、四つの研究系と事業を推進する部の体制をとりました。それらの活動を報告し、検証するためにも「年報」を編集し、公刊することによってコミュニティのご批判を受けることになりました。どうかご覧になって、忌憚のないご意見をたまわれば幸甚に存じます。

国文学研究資料館は創立以来品川に拠点を置いて活動してきましたが、2008 年 2 月に新しい建物ができます立川市に移転し、4 月から閲覧業務を開始いたします。その準備のため今年 10 月から半年間休館をしております。ご不便をかけますが、ご理解いただければと思います。立川では、新しい気持ちに立ち戻り、業務を再開するとともに、研究者コミュニティの中核となり、また情報を発信するとともに、研究成果の社会への還元も進めていきたいと思います。ご支援のほどを心からお願いいたします。

平成 19 年 12 月

国文学研究資料館 伊 井 春 樹



# 国文学研究資料館年報


平成 18 年度 (2006)

## 目 次

### 館長挨拶

I 基幹研究 .....	9
II 研究プロジェクト .....	12
1. 文学資源研究系 .....	12
2. 文学形成研究系 .....	17
3. 複合領域研究系 .....	22
4. アーカイブズ研究系 .....	27
5. 公募共同研究 .....	31
6. 招聘外国人研究員共同研究 .....	33
III 情報事業センター .....	35
1. 調査収集事業部 .....	35
2. 電子情報事業部 .....	37
3. 普及・連携活動事業部 .....	46
4. 情報資料サービス事業部 .....	52
IV 新収和古書一覧 .....	63
V 新収和古書紹介 .....	69
1. 指定貴重書 .....	69
2. 新収コレクション .....	70
3. 新収資料 .....	71
VI 各教員実績一覧 .....	78
VII 科学研究費補助金実績一覧 .....	100
VIII 刊行物一覧 .....	102
IX 外国人研究員・外来研究員 .....	105
X 海外出張・研修一覧 .....	106
XI 各種委員会委員一覧 .....	112
XII 運営会議委員、幹部職員一覧 .....	157
XIII 大学院教育 .....	159
XIV 国際交流 .....	165
XV 総務・財務 .....	167





大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

## 国文学研究資料館

〒142-8585 東京都品川区豊町1-16-10  
TEL : 03-3785-7131 FAX : 03-3785-4452

URL : <http://www.nijl.ac.jp>

National Institute of Japanese Literature(NIJL)

National Institutes for the Humanities

Address : 1-16-10 Yutaka-cho, Shinagawa-ku, Tokyo 142-8585, Japan  
Telephone : +81-3-3785-7131 Facsimile : +81-3-3785-4452